

ストレングスモデル グループスーパービジョンのプロセス

目的: 問題を繰り返し議論するのではなく、創造的な方法を作り出すことにチームが焦点化できるよう、デザインされたものです。

準備: スtrenグスアセスメントシートの配布

- 事例の報告をする担当スタッフは、チームメンバー全員にアセスメントシートと出来ればリカバリープランを配布します。

ステップ1: ウォーミングアップーちょっと良かったこと、嬉しかったことなどの報告をします(5分)。

ステップ2: 報告する担当スタッフが、「利用者の目標や希望」 & 「チームから必要としている助け・話し合ってもらいたいこと」を明確にします。

- 例:「Aさんはもっと友達を作りたいと思っています。彼女が人と出会える場所に関して、アイデアがほしいです。」
- 利用者の目標や希望が主役です。

ステップ3: 現状&すでに試してみたことは何か?ー報告するスタッフは、現状とすでに試してみたことや取り組んできたことに関して、簡単に3分程度で説明をします。

ステップ4: アセスメントの情報に関する質問

- 10分程度かけてチームは報告をしたスタッフに、アセスメントの情報&あまり検討されていない領域に関して質問をします。
- 例:「ここでは祖母が支えになっていると書いてあります。利用者の生活において、彼女がどんな役割を果たしているのかももう少し話してください。」
- アドバイスは与えない:利用者が目標を達成することを支援するために、創造的で具体的な提案を示すことができるように、利用者について可能な限り理解することが目的です。

ステップ5: ブレインストーミング

- 10分~15分かけて、チームはアイデアをブレインストームします。
- 報告するスタッフは、すべてのアイデアを書き留めます。ここで発言はしません(すなわちアイデアに対する評価はなし、または「そうですね。でも・・・」もなし)。
- 小さな、具体的なアイデアがよいですが、ちょっと突飛なアイデアでも出してみましょう。
- 良いブレインストーミングは、20~40のアイデアを生み出すといわれています。

ステップ6:

- **行動計画の提示:** 報告するスタッフは、書き留めたアイデアを見直し、取り組もうとしている次のステップについて具体的に述べる
- 例:「今週の木曜日にAさんと会います。このリストを持って行って、彼女がこれらの提案の中から何かやりたいことがあるかどうか、確かめてみます」

ストレングスアセスメント

For _____

現在のストレングス： 私の現在のストレングスとは？ (すなわち才能、スキル、個人と 環境のストレングス)	個人の希望、願い： 私の生活に何を希望するのか？	過去の資源— 個人的、社会的&環境的： どんなストレングスを私は過去に 用いたか？
住居／日常生活		
財産—経済／保険		
仕事／教育／専門的知識		
援助関係		

	ウェルネス／健康	
	レジャー／余暇	
	精神性／文化	

私の優先順位は何ですか？

- | | |
|----|----|
| 1. | 3. |
| 2. | 4. |

追加のコメントや、私に関して知っておいてもらいたい重要なこと：

これは私の生活の中で、これまで我々が確認したストレングスの正確な描写です。我々は、私のリカバリーの旅路に最も大切な目標を達成するのを助けるために、今後もこれらに付け加えていきます。

私は、この個人にとって大切に意義ある目標を達成するために、確認されたストレングスを用いることができるよう手助けすることに同意します。私は、この個人のリカバリーにとって大切なことを更に学びながら、もっとストレングスを見つけられるよう支援を継続します。

署名 _____ 日付 _____

サービス提供者の署名 _____ 日付 _____

パーソナルリカバリープラン

For _____

私の目標（これは私のリカバリーにとって達成すべき意義があり重要なこと）:

なぜこれが私にとって大切なのか:

今日我々は何をしますか？（測定可能な、目標の達成にむけた短期の行動ステップ）	担当者は？	達成予定日	達成日	コメント

上記の目標は、私のリカバリーにとって達成すべき大切なことです。

私は上記の目標が、この個人にとって大切であることに同意します。我々が面会する際には、私はこの個人が目標に向かって前進することを支援したいと思います。

署名 日付

サービス提供者の署名 日付